

UNITED NATIONS
UNIVERSITY

UNU-IAS

Institute for the Advanced Study
of Sustainability



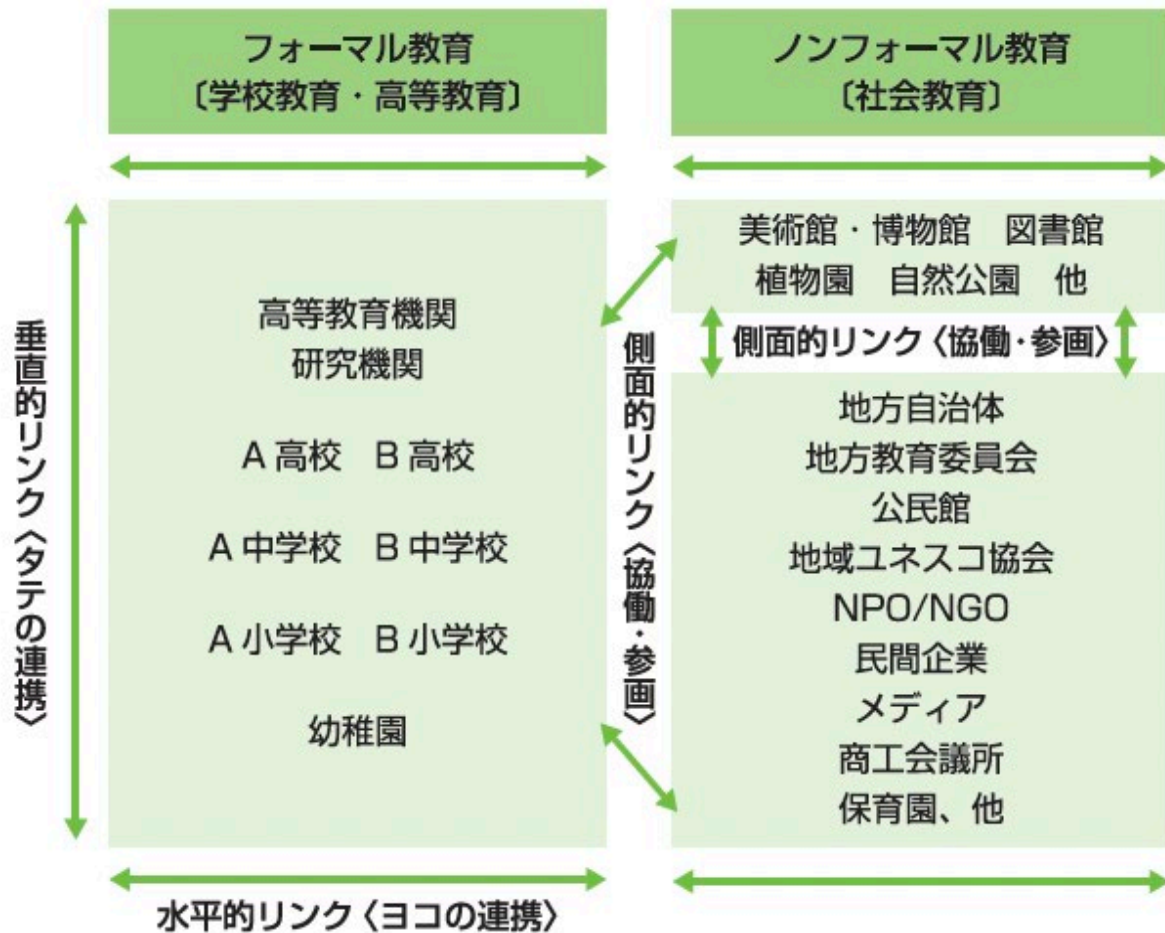
RCE（国連大学認定 ESD地域拠点） による生物多様性保全の取組

国連大学サステナビリティ高等研究所（UNU-IAS）
イノベーションと教育 プログラム・コーディネーター
小西美紀

2023年2月23日 命をつなぐ水と流域・地域市民対話フォーラム
分科会4：SDGsのパートナーシップ-国際

RCE (国連大学認定 ESD地域拠点)

Regional Centre of Expertise on Education for Sustainable Development



- 地域コミュニティにおいて、持続可能な開発のための教育 (ESD) を推進するための多様なセクターの団体・組織から成るネットワーク。

- 分野横断的な情報共有、対話、協働を促進するためのプラットフォームとして機能し、課題解決や持続可能な地域づくりに貢献。

SDGs



ESD for 2030

ESD for 2030
優先行動分野



政策支援 期間包括型
アプローチ 教育者 ユース 地域コミュニティ

Regional Centres of Expertise on Education for Sustainable Development

認定数： **7** 地域 (2005年) → **188** 地域 (2023年2月1現在)





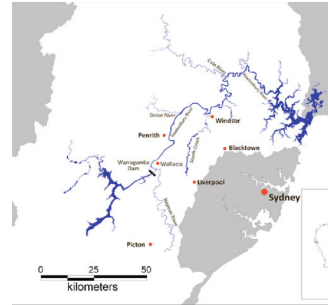
事例① RCE西シドニー広域（オーストラリア）



カモノハシの調査・保全のための市民科学の推進

背景・課題

- シドニー西部の人口増加・急激な都市化や、近年の干ばつや山火事により河川の環境が悪化
- カモノハシ（準絶滅危惧種）に関する調査・記録はほとんどなく、地域住民の認知度も低い



ホークスベリー
・ネペアン川



目的

1. カモノハシの生息確認
2. 地域住民による知識獲得
3. 環境意識の向上
4. メディア・キャンペーンの実施
5. 生態系保全の支援



実施主体

大学（西シドニー大学他）、自然保護団体（Cattai Hills環境ネットワーク（CEHN）他）、自治体

実践

- ・ ボランティア市民科学者、学生の研修
- ・ 環境DNA検出技術を活用したサンプルの回収
- ・ カモノハシの生息分析、水質管理等

成果

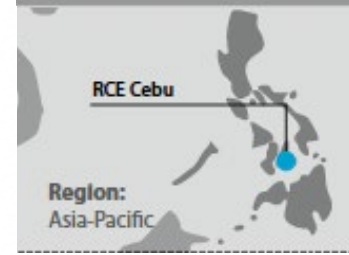
- ・ カモノハシの生息確認が国内の関心を集め、保全や環境改善に向けた取組が促進
- ・ CHENが自治体のカモノハシ保全戦略策定に参画
- ・ 調査の対象地域や実施パートナーの拡大



Dr. Anna Liza G. Santillana

事例② RCEセブ (フィリピン)

協働によるマングローブの再生・保全



背景・課題

- 豊かなマングローブが海岸沿いの住民の暮らしの基盤となり、防災的役割を果たしている他、渡鳥の生息地になっている
- 2014年の台風で壊滅的な被害を受け再生が必要

実践

- 住民に対する研修やワークショップの実施（植樹やマングローブへの負荷軽減のための食生活の変更、食物の栽培促進等。）
- マングローブ保全に関する教員養成用の教材やカリキュラム開発
- 初等教育の現職教員向けの研修・ワークショップの実施

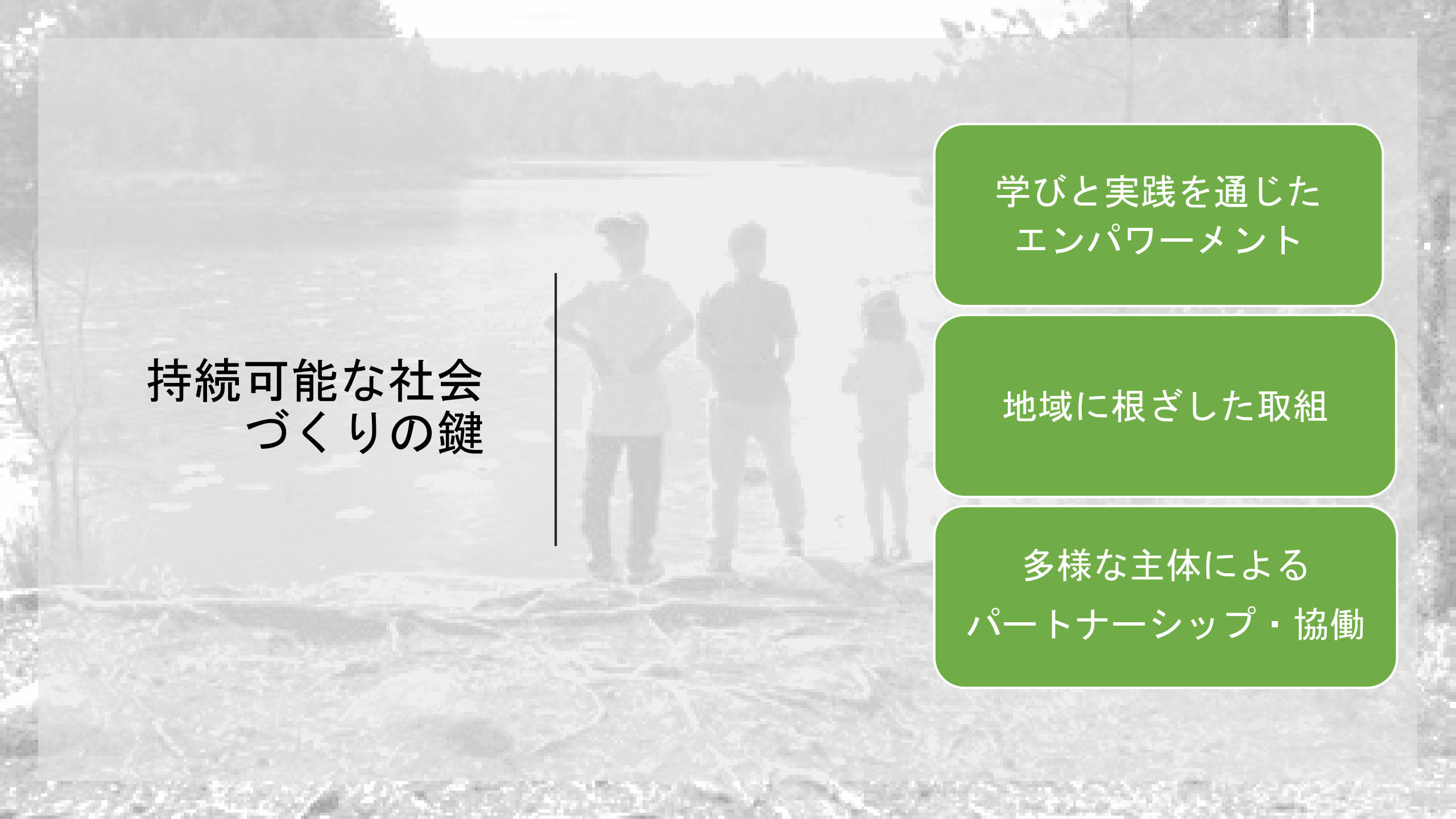


実施主体

大学、行政、住民、小規模漁師連盟、小学校、生物多様性保全財団等

成果

- 幼木を1000本植樹(+台風の被害を免れた200本)
- 食生活の変更、ガーデニングの促進によるマングローブへの負荷の軽減
- 台風で根絶された種の再生
- 渡鳥の数が回復（2020年-2014年以前比68%）
- マングローブ保全のカリキュラムが正式に大学の教員養成課程に組み込まれた他、教材は小学校で読解力向上のため活用されている



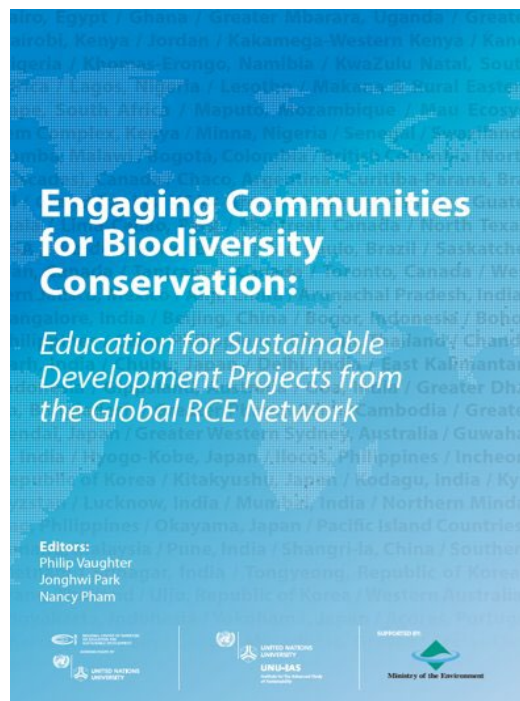
持続可能な社会
づくりの鍵

学びと実践を通じた
エンパワーメント

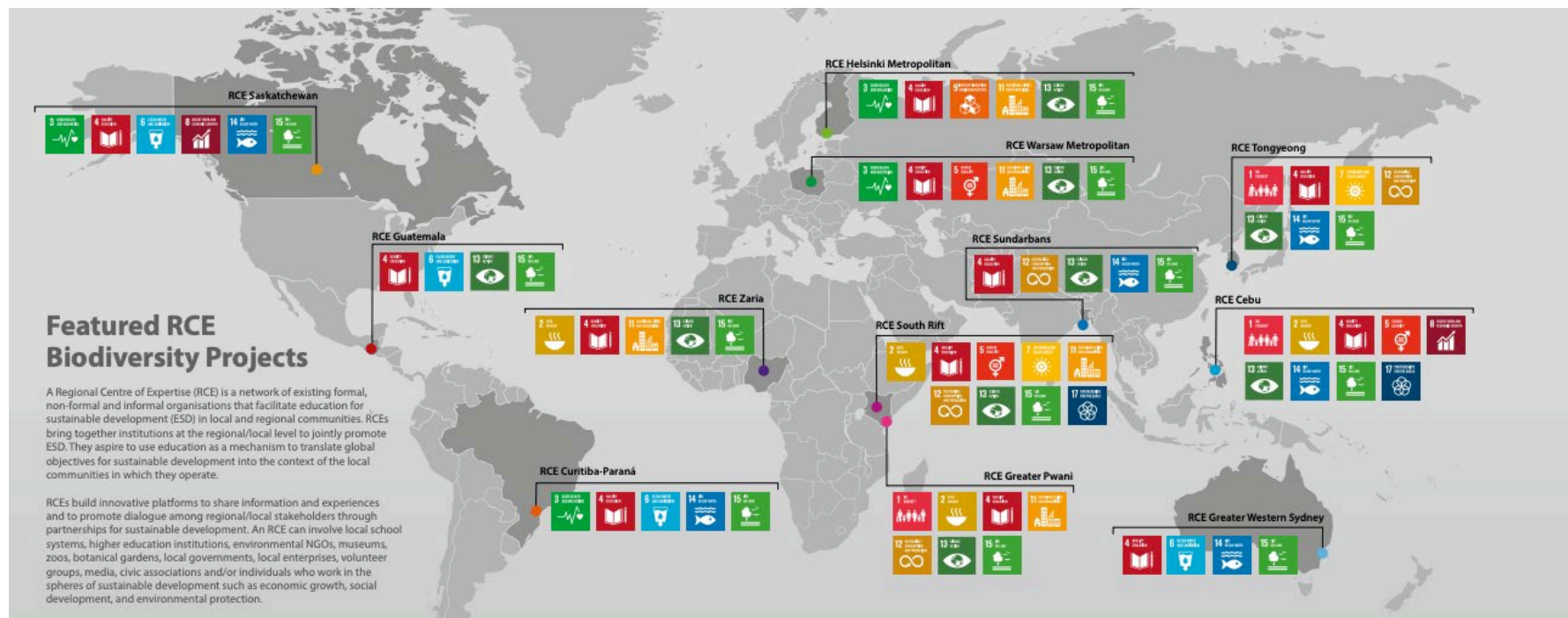
地域に根ざした取組

多様な主体による
パートナーシップ・協働

RCEの生物多様性保全教育に関する実践事例



UNU-IAS (2022)



アジア太平洋: RCE西シドニー広域 (オーストラリア)、RCE セブ (フィリピン)、RCE 統営 (韓国)、RCEスンドルバンス (バングラデシュ)

アフリカ: RCEザリア (ナイジェリア)、RCE南リフト (ケニア)、RCEプワニ (ケニア)

アメリカ大陸: RCEサスカチュワン (カナダ)、RCEグアテマラ (グアテマラ)、RCEクリチバ・パナマ (ブラジル)

ヨーロッパ: RCEヘルシンキ首都圏 (フィンランド)、RCE ワルシャワ首都圏 (ポーランド)

生物多様性ユース・アートチャレンジ
(2022年) 受賞作品 [スライド1 & 9]



Global RCE Network で検索

お問い合わせ : RCEServiceCentre@unu.edu



SUPPORTED BY

ACKNOWLEDGED BY



UNITED NATIONS
UNIVERSITY



環境省
Ministry of the Environment